



愛をもって人生にエールをおくる

IGL グループ

IGL Group Profile Book

たより IGL



中国新聞
LEADERS俱楽部
グループホームゆうゆう

デイサービス美鈴が丘
隣人愛の原点
『キリストのように』

vol.
127号
2019年2月7日発行

Love has just begun.

It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。

ICLグループ理事長 永見憲吾

まず紙の上に、自分の考えを描いてみよ。

地図やシナリオは、挑戦への道しるべになる

小林宏治(NEC元会長)

あの松下幸之助でさえ手を付けなかったコンピュータ事業を先取りし、NECを世界的なブランドに押し上げた功労者の言葉がこれだ。中世の哲学者であるフランシス・ペークンも「書くことは人を確かにする」と言っているが、書くことで自分の夢や考えが顕在化するのは間違いない。自分の進むべき道に迷いが生じたら、まずは書いてみるのも手である。

中国新聞LEADERS俱楽部

1月1日の元旦の日に中国新聞のLEADERS俱楽部に記事として記載されましたものをここに掲載させていただきます。

創立50周年の記念式典を昨年開きました。

1969年に安古市サムエル幼稚園(現広島市安佐南区)を開園したことから始まりました。「愛をもって人生にエールをおくる」をモットーに、地域とともに歩んできました。昨年7月28日

に式典を開きました。人との出会い、つながりの大切さを再認識しながら、さらなる地域貢献をするとともに、幅広いサービスを展開することを誓いました。

留学生や技能実習生の受け入れに積極的に取り組んでいます。

運営する専門学校に2006年、ベトナムから5人の留学生を受け入れたのを手始めに、今では中国人も含め200人を超える学生が在籍し、日本語などを学んでいます。日本の介護を学び、資格を取って現場で働いている外国人もいます。中国の大連など計3校にIGL留学コースを設置し、留学生の受け入れに力を入れています。



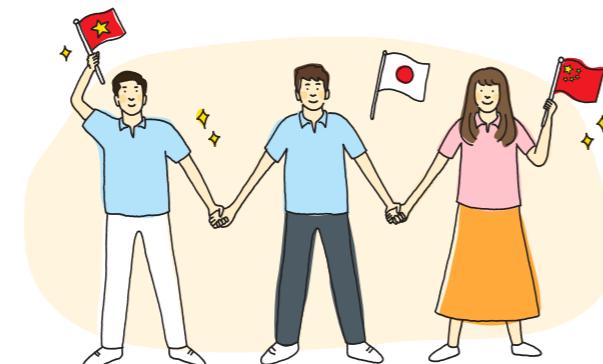
さらに外国人技能実習制度に介護職種が追加されたことから、中国人の介護人材の教育に乗り出しています。人材を派遣する現地企業との協定調印も昨年7月に行いました。第1陣として経験のある12人が来日します。今後、福祉・介護分野での外国人のニーズはさらに高まると予想しています。

保育の分野はいかがですか。

IGLグループの大きな柱に幼児教育があります。認定こども園「サムエルこどもの園」は広島市や東広島市に計8ヵ所あります。このうち4ヵ所では、結婚後に職場を離れた職員が復帰し、園長を務めています。女性にとって働きやすい職場と自負していますが、それでも人員確保が難しい時代になっています。ドイツ人のボランティアが認定こども園にいます。素晴らしい活躍ぶりです。法律改正など難しい面もありますが、幼児教育の分野でも、外国人の在留資格が認められればと思っています。

次の50年に向けて、これからのIGLグループの展望は。

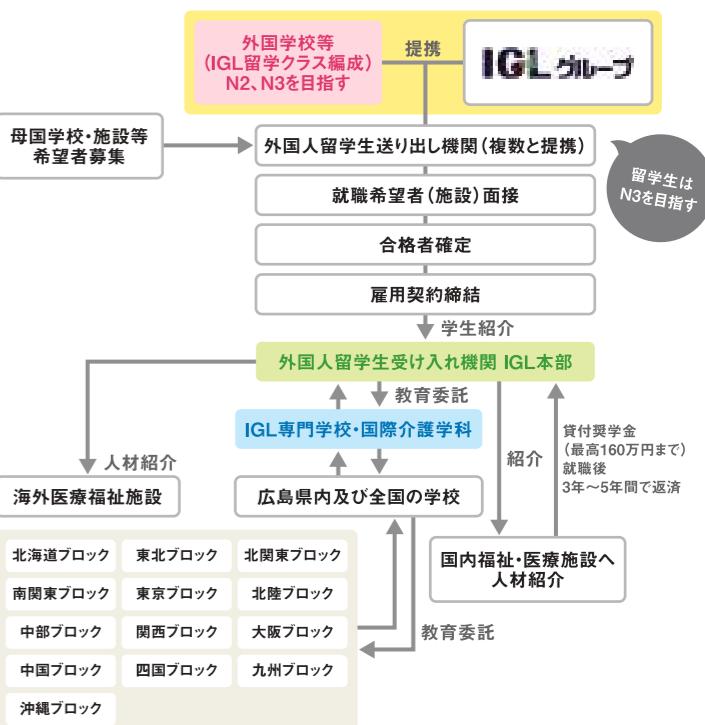
アジア全体としても高齢化が進む中、高齢者福祉のアジアスタンダードをビジョンに、国際社会に通用する介護福祉士や看護師などの人材育成にも今後力を入れます。未来の福祉分野のリーダーを育て、アジア各国に送り出すことにも力を注ぎたいと考えています。



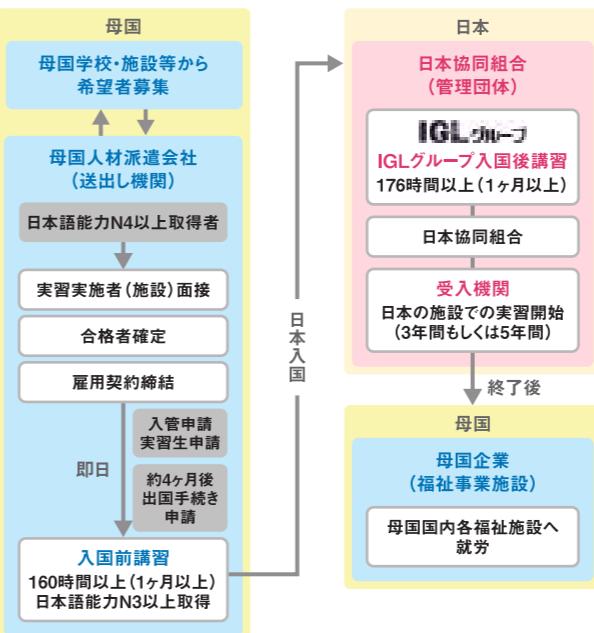
外国人介護人材の法的認可が国会で承認されたものの、具体的制度はまだ未整備で現在進行形です。ただ、介護留学生が学校で卒業すれば日本で働くこと、国家資格を得れば高度人材として期限なしに働くようになりました。そして技能実習生も3年から最長5年までの期間日本で働くようになりました。そして悪質業者を排除するため、今年の4月から新たに特定技能1号という中で介護を含む14業種が認定されました。これらの3種類の制度がわかりにくいで、簡単にチャート図で流れを示してみたいと思います。又、老人ホームコンサルについても母国の専門業者とIGLグループで得意とするところを分担し提携することによって進めてまいりたいと思います。



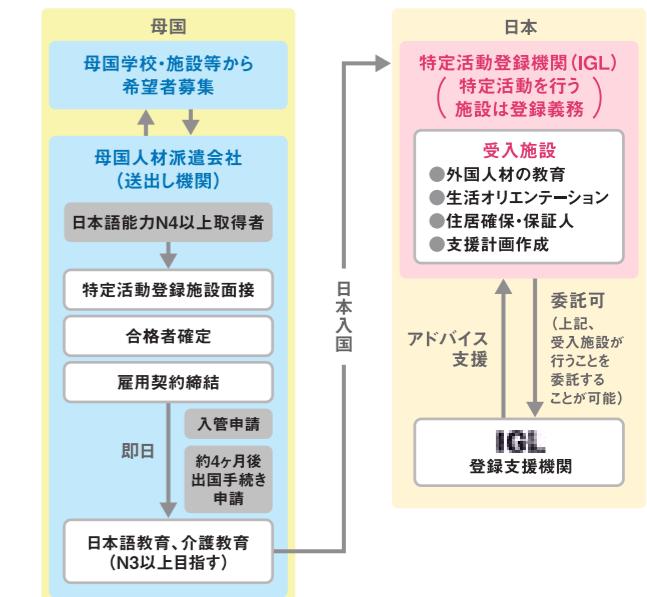
【介護・看護】留学生事業スキーム



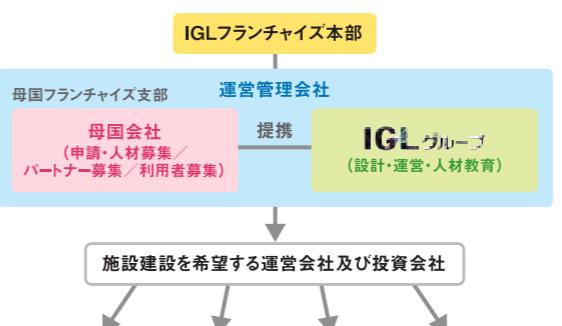
介護技能実習生事業フローチャート



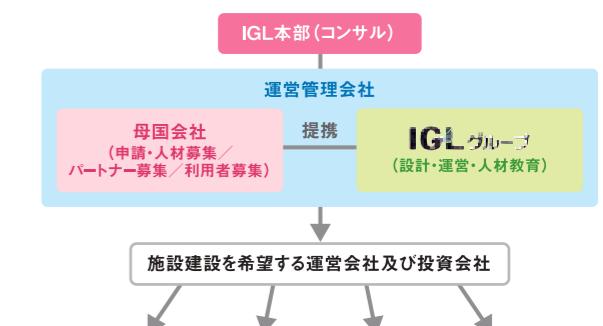
介護特定技能1号実習生事業フローチャート



小規模多機能型リハビリティ提携スキーム



老人ホーム等(コンサル)提携スキーム



愛の中で優しさが育ち、 遊びの中で生きる力が育まれる

様々な経験・体験が 子どもの遊びや情緒を 豊かにします

遊びは子どもにとって喜びであり、学びです。
日々遊びの中で、いろいろなことに気づいたり、
試してみたり…
見たことや生活の中で経験したことを
再現することも喜びの一つです。

心をつなぐわらべうた

大好きな大人の人の声、眼差し、
触れ合いの中、心地よさを感じながら遊んでいます。
幼児クラスになると、わらべうた遊びに加え、
音楽的要素(拍、リズム、高低、大小、内的聴感、清潔にうたう)を
意識した活動も取り入れています。



優しくしないと
ビックリ
するよね

動物園で、
もっと動物のことを知ろう!!
ヤギの毛をブラッシング。

なんて名前の
動物かな?

自分たちが知っている
動物の特徴や共通体験を
思い出しながら
動物園を作っていました。

きりんは首が
長いから
高い木があったね



わらべうたで
なかよし!
おてぶし
てぶしてぶしの
なかに…♪

どーっちだ?

わらべ
うた



あっぷつぶ♪
保育者と一緒に
わらべうた

からすかずのこ…♪
友だちの声を聞き、音の高さや拍を
感じながら歌います。

認定こども園サムエルこどもの園では…

- 子どもの自発性で主体的な「遊び」を中心にした生活を育む。
- 社会で生きていくための根本の力を育む。
- 同年齢、異年齢の中で育ち合う。
- 家庭と園が連携して子育てを行う。
- 子どもの尊厳を重んじ、一人ひとりの個性を大切にする。

身近な世界を知る

子どもたちは好奇心が旺盛です。
何でも知りたい、見たい、
身近な世界を発見しようとしています。
日々の遊びの中から、
体験や様々な発見をしながら知識を深めていきます。
また、様々な体験や遊びをする中で、
社会的ルールを身につけていったり、
人との関わりを広げていきます。
実際に働いている方にお話を聞いたり、
物事に触れたりしながら、
知りえた情報や共通体験を通して
様々な遊びをしています。



ブロック
あそび

バスの運転手さんたちが、
電動ドリルを使って
作業している姿を見た子どもたち。
早速、お部屋の中ではブロックでドリルを作り、
「ガガガ…」と音を再現しながら、
作業がはじまりました。



大き
くな
ったねえ

みんな集まってきた。
「バスの色こんな色だったよね～」
と見てきたバスを思い出しながら
バスの色を塗ります。
みんなで力を合わせます。



交
通



バスの出来上がり!
それぞれお客様、
運転手さんになって
役割を楽しんでいます。



バスに
乗って
みたいな…



人を全人的に理解し 高い技術とあたたかい心で人を癒す

IGL医療福祉専門学校



IGL医療福祉専門学校
鍼灸学科教員

みなみ　えみこ
南 絵美子さん

鍼灸学科 2004年卒業(1期生)

IGL医療福祉専門学校は、医療・福祉のプロフェッショナル養成校。本校を卒業された皆さんは、介護福祉士、はり師・きゅう師、柔道整復師、歯科衛生士の「国家資格」を取得し、さまざまなフィールドでその道のプロとして、技術や知識、そして経験を生かして活躍しておられます。

本校卒業生の皆さん、資格や学科を志した思い、その思いや夢などを叶えたプロセス、そして今に至るご活躍のストーリーをお伝えする、「卒業生・プロフェッショナル人物伝」。

第127号はIGL医療福祉専門学校(旧IGL医療専門学校)の卒業生であり、現在は鍼灸学科の教員兼鍼灸院の開業をされている南 絵美子さんをご紹介します。

「鍼灸」との出会いから入学まで

高校生の時、所属していたバレー部での練習中に足首を捻挫しました。整形外科での治療の後、少しでも早く試合に出られるように、顧問の先生から鍼灸院へ行くよう勧められました。それまで「鍼灸」という分野に馴染みがなかった為、初めて鍼をうってもらった時は不思議な感覚がしました。それと同時に「こんな仕事もあるんだ!」という新しい世界を知るきっかけになりました。

進路選択の時期になると、将来はスポーツトレーナーとして活躍できる鍼灸師を目指したいと思うようになりました。そんな中、たまたま目に付いたテレビCMでIGLの存在を知りました。当時、IGLの鍼灸学科は広島県内初となる新設された学科でした。実家から通える範囲での進学を希望していたこともあり、すぐに問い合わせをし、入学に至るまではトントン拍子に進みました。

海外研修で受けた衝撃

しかし、実際に入学してみると周りの同級生に圧倒される日々でした。スポーツトレーナーとして社会人経験のある人もたくさんいた為、経験や実力の差を感じました。授業と並行してスポーツジムでのアルバイトもしていましたが、当初描いていた鍼灸師兼スポーツトレーナーという夢への思いは消失しつつありました。

そんな中、IGLが企画した上海中医薬大学短期研修旅行に参加しました。大学病院での研修の際には、日本とは異なり、中国では「鍼灸科」が内科や外科などと同じくらいメジャーな診療科目ということにまず驚きました。そこでは西洋医学と同等に鍼灸や漢方による治療が行われていました。多くの患者さまが鍼灸や漢方による治療を求めて来院される姿に衝撃を受けたと同時に、改めて「鍼灸」への大きな可能性を感じた瞬間でもありました。また、この研修がきっかけとなり、「中国へ留学して鍼灸を学びたい」と思う気持ちが芽生えました。

よりよい医療・福祉サービスを提供するには、優れた人材の育成が不可欠です。

そこでIGLでは、医療・福祉の現場で活躍する人材を育成する専門学校を設立。

本校の校訓である「自信と謙遜」の心を養い、人格を磨き、深い人間愛に立脚した福祉・医療のスペシャリストを育成しています。

グループ内にある各施設と連携して、実際の現場のなかで技術と思いやりの精神が磨けるのは、IGLならではの特徴です。

中国への留学

留学に関する情報集めを行うと同時に日本の鍼灸の現状についてもしっかり勉強しておく必要があると感じたので、IGLを卒業後は、東京にある東京衛生学園専門学校の臨床教育専攻科に進学しました。そして2年間のカリキュラムを修了し、鍼灸の教員免許を取得しました。その後は念願叶い、提携する中国の天津中医薬大学修士課程への留学が実現しました。半年間は語学を学び、残りの1年半は研究や病院実習などを通して本場の中国鍼灸を学びました。最初は言葉の壁により苦労することもありましたが、多くの知識と経験を得ることができ、充実した楽しい日々が過ごせました。鍼灸師としてだけではなく人間としての視野も広がり、たくさんの貴重な体験をすることができました。中国への留学は、私の人生における素晴らしい経験の一つとなりました。

女性鍼灸師としてのレベルアップ

帰国後は母校であるIGLの教員として働かせていただきました。また、同時に小さな鍼灸院を開業しました。その後、結婚・二度の出産も経験しましたが、妊娠による身体の変化や育児休暇によるブランクを乗り越えて仕事に復帰することができています。鍼灸による施術は、あまり体力を要することもなく、開業すれば仕事量も自分のライフスタイルに合わせて調整が可能です。これは、鍼灸師という職業の大きな強みだと思います。また、出産や育児の経験により、同じ立場の女性や子どもに対して自身の経験を活かしたケアができるようになりました。現在は、婦人科系の治療を中心に、妊娠希望の方や妊産婦さんへのケア、お子さまや0才の赤ちゃんのケアにもあたらせていただく機会が多くなりました。それに伴って教育知識の幅も広がり、年を重ねるごとに鍼灸師としても教員としてもレベルアップしていることが実感できています。

広島から発信! ~マタニティケアから小児ケアまで~

まずは広島から、鍼灸や女性鍼灸師の存在を広める活動をしていきたいと考えています。今はまだスタートしたばかりですが、普及・啓蒙活動の一環として、同窓会の力を借りながら、女性鍼灸師が中心となって活動する女性やお子さま向けの教室やイベントを企画・開催しています。こうしたイベントの度に「鍼灸について初めて知りました!」「女性の鍼灸師さんもいるんだ!」とか「刺さずに擦るだけの鍼もあるんだ!」「子どもがこんなにリラックスしてる!」と言って喜んでくださることがとても嬉しいです。

ただ、女性鍼灸師を求める患者さまが沢山いらっしゃる一方で、女性特有のライフスタイルの変化等で仕事へのブランクが生じた際、どのように対応したらよいのかわからないまま、鍼灸師という仕事から離れてしまう方が多いのも現状です。女性鍼灸師同

士が互いの情報交換や悩み相談をする交流の場を増やすことで解決できることもあると感じるため、今後は、お互いがもっと積極的に交流できる場を増やし、個々が望んだ形でスムーズに復帰できるような仕組み作りを検討したいと考えています。

私自身も女性鍼灸師の仲間達から刺激をもらいながら、同じような境遇の仲間の一歩踏み出す勇気や自信を与えられるような存在になりたいです。その結果、広島で活躍する女性鍼灸師が増えて、「女性や子どものケアには、鍼灸がすごくいいんよ~!」と言ってもらえるくらい地域を盛り上げていくこと! それが今私の夢です。これからも諦めることなく、ライフスタイルの変化を柔軟に楽しみながら女性鍼灸師として歩み続けたいと思います。



家庭的なぬくもりの中で その人らしい暮らしをささえる

グループホームゆうゆう

家族のように愛し敬い支え 共に歩んでゆく

グループホームゆうゆうではご利用者さま、おひとりおひとりの個性を尊重し、生きがいを見出し、それを自信につなげてゆけるよう心掛けています。介護スタッフとご利用者さまが支え合いながら家庭的な雰囲気の中で共同生活を送っています。無理のない範囲での家事(食事の支度・掃除・洗濯等)を行うことでご利用者さまの生活機能の維持と向上を目指しています。



家事をされている日々の様子。毎食後のキッチンでのお皿洗い、玄関に飾るお花を花瓶に生けて頂いています。洗濯物も干すところから乾いたら畳みまでこなします。



地域交流

昨年あさひが丘にオープンした認知症カフェ「IGL SWAN」への手芸作品の提供・販売や地域の方によるグループホームでの行事開催を通して支援の輪が広がっています。公民館の催しやどんど祭り、カラオケ大会、ふれあいサロン等の地域行事へはいつも参加しています。



中杉ホーム長より

10月1日から、河野ホーム長に替わりグループホームのホーム長として仕事をさせていただいております。今まで前ホーム長が作ってこられた、アットホームなグループホームの雰囲気を残しながら今後、管理栄養士としての経験をグループホームで活かしていくと考えています。



一人ひとりが望まれる、「その人らしい暮らし」を続けることが出来るよう、IGLではご利用者さまを敬い、家族のように愛する気持ちで心の交流を大切にしています。

随所に“もてなしのこころ”が感じられるこだわりの施設をはじめ、ユニットケアやDT(気ばらし療法)など、生きる意欲を引き出すさまざまな取り組みは、地域の元気を生み出す拠り所となっています。

年間行事

3ユニットそれぞれのレクリエーションを行うほか、ボランティアの先生方(健康体操・うたの会・手芸教室・書道教室・アートセラピー)が提供される行事や3ユニット合同での行事を企画・実行しています。今年初開催の行事は着物ショー・中華料理の実演・そうめん流し・サンマの炭火焼きです。

日々の活動や行事を通して地域の皆さまとの関係を築き、ご利用者さまご家族にも安心できる生活を提供できる場を設けています。



中華の達人

代 元三先生



「ご高齢の方々に自分が調理した中華料理を食べて頂き、笑顔になって欲しい」との事で、代先生によります中華料理(チャーハン・白菜のミルク煮・エビチリ)の実演がありました。ご利用者さまの目の前で大鍋を振る姿に感動しました。そして調理されたプロの味に全員、舌鼓を打ち、自然と笑みがこぼれました。先生とのこのご縁を末永く続けていきたいものです。



祝・ご長寿!!



斎藤 健三さま
大正4年10月20日生 103歳



グループホームゆうゆう
〒731-3352
広島市安佐北区安佐町後山1047
TEL 082-838-3434



幸せをささえるもの クオリティー オブ ライフは 健康 から

デイサービス美鈴が丘

デイサービス美鈴が丘はいつも笑い声が絶えない、定員25名のアットホームなデイサービスです。曜日別に様々なクラブ活動を行っています。隣に、サムエル美鈴が丘こどもの園が目前にあるので、園児との交流もあり、利用者の方にもとても喜ばれています。



子ども達と
ふれあうことにより、
自然と笑顔が
あふれます。



ご利用者さまが
会を発足させ、
半年に一度俳句集を
作られています。



季節ごとの
作品作りを
しています。

機能訓練指導員の
グループ体操

機能訓練指導員の
丁寧な指導で
やる気も出ます!

異文化交流を
楽しめています。



ドイツから来られたボランティア

IGLデイサービス美鈴が丘

〒731-5111 広島市佐伯区美鈴が丘東4-14-1

TEL 082-926-3901

サービス内容 | 通所介護・予防通所介護・1日型デイサービス
利用対象者 | 事業対象者・要支援・要介護

営業日 | 月曜日～土曜日

休業日 | 日曜日/1月1日・2日

営業時間 | 8:00～17:00(サービス提供時間 8:30～16:30)

定員 | 25名

IGL居宅介護支援事業所 美鈴が丘



介護・医療
のみならず、
日々の困った事も
遠慮なく
ご相談ください。
担当の専門員が
丁寧に応対します!

冷え性

女性に多い「冷え性」ですが、適切に対処せずに我慢していると様々な症状や病気を引き起こすことがあります。冷えの症状としては「入浴後すぐに手足が冷える」「手足が冷えて眠れない」「体が温まりにくい」などですが冷えだけでなく、むくみ、腹痛、頭痛、生理不順、抑うつ感等さまざまなトラブルを伴います。

女性は男性より筋肉量が少なく、月経・出産・閉経などホルモンバランスが崩れやすいことも理由にあげられます。冷えの原因として「体質・体格」「自律神経の働きの乱れ」「女性ホルモンの変動」「生活習慣」が考えられます。なかでも、生活習慣での衣食住が冷え性の原因となる場合があります。生活習慣を改善すれば冷え性を予防できるかもしれません。

生活習慣のなかで冷えにさらされることの積み重ねを東洋医学では「積冷」と言いますが、エアコン・衣服・食生活・ストレスの影響からも現代人は冷えを感じやすくなっています。「生活習慣病」という言葉をよく聞くようになりましたが、食事や運動など生活を見直すことで疾病の予防や治療に役立ちます。冷え性対策においても、いろいろな角度から日常生活を改善していくことが有効です。

Challenge!

冷え性を改善する

栄養バランスの良い食事をする

特定の食品にこだわらず食事全体の栄養バランスを整えることが、冷え性を解消するために効果的です。野菜や果物は葉・茎・皮をまるごと食べると栄養素を無駄なくれます。朝食はきちんと取り冷たいものは控えましょう。また、アルコールの飲みすぎは体温が低下しやすくなるので飲み過ぎに注意しましょう。

生活に運動を取り入れる

冷え性の原因として、筋肉量が少なく体の熱を多く作れない、血流が悪いため熱をうまく運べないことがあります。体の熱の約6割は筋肉によって作られるため筋肉を鍛えると冷え性の改善につながります。ウォーキングを毎日30分行なうと足腰の筋力強化だけでなく、代謝の向上・自律神経のバランス・下肢の静脈の流れにも良いでしょう。

IGL鍼灸マッサージ治療院 〒731-0154 広島市安佐南区上安6-31-1 **TEL 082-830-3420**

隣人愛の原点

『キリストのように』 広島福音教会牧師 加藤 望

毎年巡って来るクリスマス。イエス・キリストの誕生を祝うお祭りです。今ではすっかり日本にも定着しましたね。

ところで、救い主イエスさまがお生まれになったのは、ユダヤの田舎のベツレヘムという小さな村。当時、世界を支配していたローマ皇帝アウグスチスが全世界の人口調査の勅令を出し、世界中がてんやわんや。ベツレヘムもご多分に漏れず、多くの人がごった返していました。イエスさまの親となるヨセフとマリアは本籍地のベツレヘムに来たのですが、古代イスラエルの名君ダビデ王の家系とはいえ、末端も末端の貧しい家柄。遠い親戚がいたとしても頼ることもできず、宿屋を捜したのですが、どこも人で一杯で、案内されたのが宿屋の入口の馬小屋だったのです。そこで赤ちゃんイエスさまは生まれました。最初に寝かされたのは、羊やロバの餌箱の飼葉桶。これが父なる神のご計画でした。王宮に生まれてちやほやされ、地位の高い救い主になるのではなく、貧しい羊飼いの子どものように飼葉桶に寝かされる救い主。それは、低きに下り、すべての人、とりわけ虐げられている人々を救うためでした。

日本の歴史の中で、イエス・キリストのようになってほしいと、わが子に「厩戸皇子(うまやとのみこ)」という奇妙な名前をつけた母親が

いました。厩とは馬小屋のこと。イエス・キリストと全く同じでは畏れ多いと「馬小屋の戸の前で生まれた皇子」という名前を付けたのです。これは皆さんもご存知の「聖徳太子」の幼名です。聖徳太子一家を支えた秦河勝(はたのかわかつ)は、大陸から渡って来たユダヤ系の大財閥でしたが、熱心な景教徒(ネストリウス派キリスト教徒)でした。聖徳太子の母親はその影響を受けて景教徒になり、キリストの教えを信奉していたのです。聖徳太子は成人してから、妻と共に山奥で隠遁生活をしていたハンセン病患者に食糧を届けたり、薬草を煎じて飲ませたりして面倒を看ていたという逸話が残っています。戦を好まず、朝鮮出兵にも反対しました。ですから摂政となって十七条の憲法を制定したとき、第一条に「和をもって尊しとなす」と宣言し、平和こそ国の礎としました。それは、剣を取って戦うのではなく、自らを犠牲にして命を献げ、神と人、人ととの間に平和を打ち立てたイエス・キリストの生き様に倣った教えでした。

私たちも聖徳太子同様、イエス・キリストのように平和を造り出す者として歩んでいきたいですね。





隣人愛はやがてみんなのもとへ。 IGLは地球の未来と共に歩みます。

International Gospel League (国際福音連盟)

IGL(インターナショナル・ゴスペル・リーグ・国際福音連盟)は、米国カリフォルニア州のバサデナという町に本部を置き、世界各国にある福音主義の教会を援助していた団体です。当グループも精神的母体である広島福音教会が、昔困窮しているときに助けていただき、これを永く記念する意味で名称とさせていただいております。



サムエル美鈴が丘こどもの園



サムエル未来こどもの園



サムエル信愛こどもの園



サムエル薬師が丘こどもの園



サムエル広島こどもの園



サムエル広島こどもの園分園



サムエル東広島こどもの園



サムエル西条こどもの園



IGL医療福祉専門学校



特別養護老人ホーム
ナーシングホームゆうゆう



特別養護老人ホーム
第二ナーシングホームゆうゆう



介護老人福祉施設
IGLナーシングホームシャレー



介護老人保健施設 ベルローゼ
ケアハウスふれ愛



グループホームゆうゆう



高齢者複合施設
アルペンローゼ



IGL高齢複合施設 西風新都



IGL高齢複合施設
ベルビュー広島



IGLふれ愛ケアセンター
ベルビュー広島



IGLふれ愛ケアセンター
美鈴が丘



健康増進施設
クアリウムシャレー



ジャパン・スイミングスクール
広島



日本ホーリネス教団
広島福音教会



IGL高齢複合施設
ベルビュー河原町

学校法人IGL学園

サムエル美鈴が丘こどもの園	TEL 082-928-4123
サムエル薬師が丘こどもの園	TEL 082-928-1414
サムエル信愛こどもの園	TEL 082-879-8879
サムエル未来こどもの園	TEL 082-849-6161
IGL医療福祉専門学校	TEL 082-849-5001

ショートステイアルペンローゼ

TEL 082-830-3422

IGLショートステイシャレー

TEL 082-830-3321

IGL居宅介護支援事業所ベルシャレー

TEL 082-830-3366

IGL居宅介護支援事業所アルペンローゼ

TEL 082-830-3377

IGL居宅介護支援事業所ゆうゆう

TEL 082-838-3339

IGL居宅介護支援事業所美鈴が丘

TEL 082-926-3904

IGL居宅介護支援事業所ベルビュー広島

TEL 082-235-3383

IGL居宅介護支援事業所ベルビュー河原町

TEL 082-291-6860

IGL居宅介護支援事業所西風

TEL 082-848-3395

IGL居宅介護支援事業所シャレー

TEL 082-830-3326

IGLデイサービスゆうゆう

TEL 082-838-3100

IGLデイサービス第2ゆうゆう

TEL 082-838-3349

ベルローゼ・デイケア

TEL 082-830-3339

IGLデイサービスアルペンローゼ

TEL 082-830-3337

IGLデイサービスあさひが丘

TEL 082-810-4788

IGLデイサービス西風新都

TEL 082-848-3358

IGLデイサービス美鈴が丘

TEL 082-926-3901

IGLデイサービスベルビュー広島

TEL 082-235-3381

IGLデイサービスベルビュー河原町

TEL 082-291-6866

IGLデイサービスシャレー

TEL 082-830-3323

IGL SWAN

TEL 082-218-0897

IGLヘルパーステーションゆうゆう

TEL 082-810-4678

IGLヘルパーステーション美鈴が丘

TEL 082-926-3903

IGLヘルパーステーションベルビュー広島

TEL 082-235-3382

IGLヘルパーステーションシャレー

TEL 082-830-3324

IGL訪問看護ステーション

TEL 082-830-3375

IGL福祉用具貸与事業所

TEL 082-838-3343

広島市清和・日浦地域包括支援センター

TEL 082-810-4688

健康増進施設ケアリウムシャレー

TEL 082-830-3330

IGL訪問サービス上安24

TEL 082-830-3331

IGL鍼灸マッサージ治療院

TEL 082-830-3420

医療法人社団IGL医療会

クリニックアルペンローゼ TEL 082-830-3350

歯科クリニック・エーデルワイス TEL 082-810-4680

株式会社エーデルワイス

株式会社 エーデルワイス TEL 082-830-3336

株式会社アイジーエル

ジャパン・スイミングスクール広島 TEL 082-872-2344

宗教法人IGL

日本ホーリネス教団広島福音教会 TEL 082-928-4166

NPO法人

IGLヒューマンリソースネットワーク TEL 082-830-3355

<http://www.igl.or.jp>



愛をもって人生にエールをおくる

IGLグループ本部

〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6-31-1

TEL 082-830-3355 FAX 082-830-3388

総合フリーダイヤル **0800-222-5666**

いつの時代も、隣人愛のもと、よりよき社会づくりを願ってきたIGL。そのIGLをさえる理念や、活動の背景にある考え方、実際の取り組みなど、グループの全貌をお伝えするプロフィール・ブックとして編集しております。

(創刊号 1976年10月発行)